

『PCA会計シリーズ』 補足説明 (インボイス制度対応)

KDH230810

本紙では、以下の製品のインボイス制度対応プログラムでの仕様変更点をまとめております。操作方法などの詳細につきましては、PDFマニュアル、オンラインヘルプをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部搭載されていない機能があります。

※旧製品からの変更点ではありませんので、ご注意ください。

《対応製品》

- ・『PCA会計hyper』のバージョン1.0、リビジョン6.10のプログラム
- ・『PCA会計DX』『経理じまんDX』のバージョン1.0、リビジョン6.10のプログラム
- ・『PCA医療法人会計DX』のバージョン1.0、リビジョン6.10のプログラム

《インボイス制度に関する機能》

(※) 「取引先の登録」や取引先の上書受入機能は『PCA hyper会計シリーズ』の機能です。

◇インボイス対応の税区分を追加 (P2参照)

◇「前準備」－「会社基本情報の登録」に事業者登録番号を追加 (P2参照)

◇「前準備」－「会社基本情報の登録」に免税事業者からの課税仕入れの経理方法機能を追加 (P3参照)

◇「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録 (※)」に法人番号検索機能を追加 (P4参照)

◇「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録 (※)」に適格請求書発行事業者項目(事業者区分、事業者登録番号、デジタルインボイス受信)を追加 (P4参照)

◇「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録 (※)」に適格請求書発行事業者情報の一括更新機能を追加 (P5参照)

◇「デジタルデータ処理」－「クイック処理」にデジタルインボイス対応機能を追加 (P5参照)

◇「デジタルデータ処理」－「デジタルインボイスの受信」にデジタルインボイスの受信処理を追加 (P6参照)

◇「データ入力」－「振替伝票入力(コクヨ式)」等の伝票入力に税区分自動読替機能を追加 (P6参照)

◇「伝票入力」－「振替伝票入力(コクヨ式)」等のマスター参照機能に「事業者登録番号」「経過措置を適用する旨」を追加 (P7参照)

◇「随時」－「汎用データの受入」に補助科目、取引先(※)の上書受入機能を追加 (P7参照)

メニューから「よくある質問 (FAQ)」を起動できるようになりました！
インボイス機能についてのご質問、操作のご不明点はまずこちらをご確認ください。



インボイス制度に関する機能について

《インボイス対応の税区分を追加》

免税事業者の経過措置を含めた税区分を追加しました。免税事業者等からの課税仕入れについて「経過措置80%」「免税等（控除不可）」の各区分を設定できます。

コード	説明
05	課税仕入10% (共通)
06	課税仕入8% (軽) (共通)
0C	課税仕入8% (共通・控除80%)
0D	課税仕入10% (共通・控除80%)
0E	課税仕入8% (軽・共通・控除80%)
R0	課税仕入返還 (共通・免税等)
R4	課税仕入返還8% (共通)
R5	課税仕入返還10% (共通)
R6	課税仕入返還8% (軽) (共通)
RC	課税仕入返還8% (共通・控除80%)
RD	課税仕入返還10% (共通・控除80%)
RE	課税仕入返還8% (軽・共通・控除80%)
W0	非課税仕入の返還
X0	有価証券売上

《「前準備」－「会社基本情報の登録」に事業者登録番号を追加》

※『PCA hyper会計シリーズ』『PCA 会計シリーズ（バージョンDX）』は「会社基本情報の登録」、
『PCA 医療法人会計シリーズ（バージョンDX）』では「法人基本情報の登録」でご利用いただけます。

「会社基本情報の登録」で事業者登録番号の登録ができます。デジタルインボイスを利用する上で自社の事業者登録番号も必要になります。

会社基本情報の登録

会社情報(N):
コード 0001
会社名 取引データ確認
フリガナ トリヒデータ確認

会計年度(T):
会計期間 平成 34年 4月 1日 ~ 平成 35年 3月 31日
決算期数 1
前年度領域

基本情報 桁数設定 セグメント設定 消費税情報 インボイス情報 管理情報 承認設定 電子帳簿保存 月度範囲

使用する届(C) 西暦 和暦

部門管理(B) 管理しない 全科目 損益計算書科目

住所情報(A):
郵便番号
住所1
住所2
住所1フリガナ
住所2フリガナ
TEL
FAX

マイナンバー(M):
法人番号 4010001027327

適格請求書発行者(J):
事業者登録番号 T 4010001027327 確認

≪「前準備」－「会社基本情報の登録」に「免税事業者からの課税仕入れの経理方法」機能を追加≫

※『PCA hyper会計シリーズ』『PCA 会計シリーズ（バージョンDX）』は「会社基本情報の登録」、
『PCA 医療法人会計シリーズ（バージョンDX）』では「法人基本情報の登録」でご利用いただけます。

免税事業者からの課税仕入れの経理方法を「入力時に自動計算」「手動で調整」から選択できます。インボイス制度開始後、適格請求書発行事業者以外の事業者（免税事業者等）からの課税仕入れに関して、二通りの経理方法が認められており、どちらにも対応します。



- ・経理方法が「入力時に自動計算」の場合

取引時、控除できない消費税分を費用（または資産）に上乗せする方法です。

（例）事業者区分が「非適格（経過措置あり）」の取引先から、消耗品を1,100円で購入した場合（80%控除期間の取引）

・取引時の仕訳

借方勘定科目	借方金額	借方税区分	貸方勘定科目	貸方金額	貸方税区分
消耗品費	1,020	QD	未払金	1,100	00
仮払消費税	80	QD			

※税区分：QD（仕入10%控80）

※税区分：00（対象外）

- ・経理方法が「手動で調整」の場合

取引時は消費税率どおりの仮払消費税等を計上し、控除できない分を決算整理仕訳などで雑損失等に振り替える方法です。

（例）事業者区分が「非適格（経過措置あり）」の取引先から、消耗品を1,100円で購入した場合（80%控除期間の取引）

・取引時の仕訳

借方勘定科目	借方金額	借方税区分	貸方勘定科目	貸方金額	貸方税区分
消耗品費	1,000	QD	未払金	1,100	00
仮払消費税	100	QD			

※税区分：QD（仕入10%控80）

※税区分：00（対象外）

・決算整理などの仕訳（控除できない20%分を調整）

借方勘定科目	借方金額	借方税区分	貸方勘定科目	貸方金額	貸方税区分
雑損失	20	00	仮払消費税	20	00

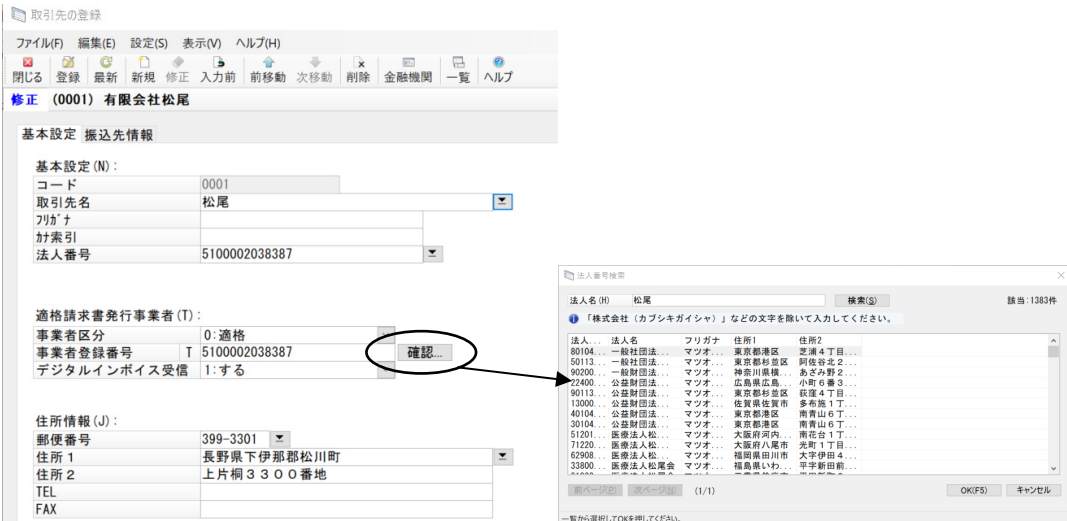
※税区分：00（対象外）

※税区分：00（対象外）

≪「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録」に法人番号検索機能を追加≫

※『PCA 会計シリーズ（バージョンDX）』『PCA 医療法人会計シリーズ（バージョンDX）』は「補助科目の登録」、『PCA hyper会計シリーズ』では「取引先の登録」でご利用いただけます。

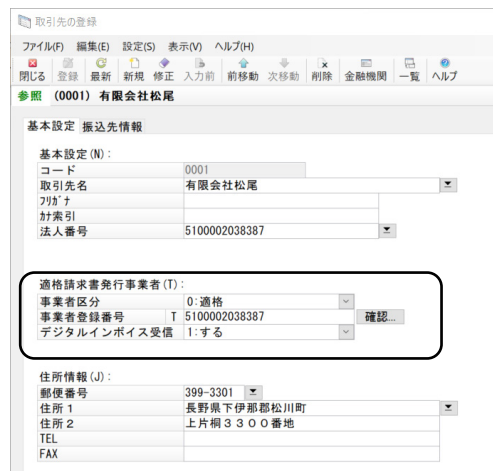
法人名から法人番号、事業者登録番号、郵便番号、住所を検索し設定することができます。
 ※国税APIを利用するため、オンライン環境が必要となります。



≪「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録」に適格請求書発行事業者項目を追加≫

※『PCA 会計シリーズ（バージョンDX）』『PCA 医療法人会計シリーズ（バージョンDX）』は「補助科目の登録」、『PCA hyper会計シリーズ』では「取引先の登録」でご利用いただけます。

取引先が適格請求書発行事業者かどうかの設定をする「事業者区分」、適格請求書発行事業者の登録番号を設定する「事業者登録番号」、デジタルインボイスを受信設定するかどうかの設定をする「デジタルインボイス受信」を追加しました。

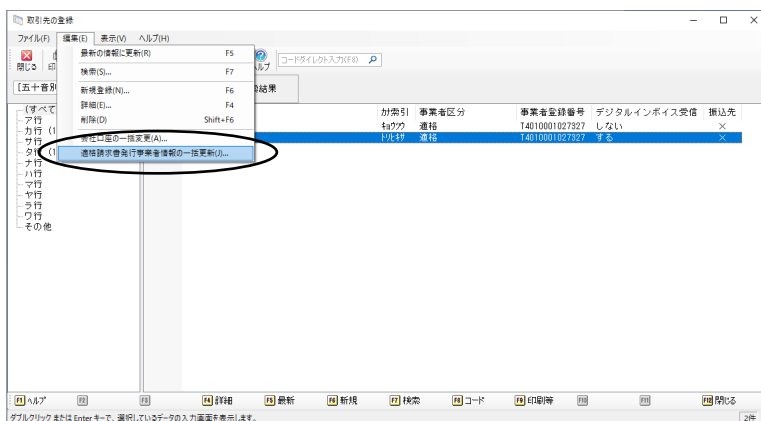


≪「前準備」－「補助科目の登録」「取引先の登録」に適格請求書発行事業者情報の一括更新機能を追加≫

※『PCA 会計シリーズ（バージョンDX）』『PCA 医療法人会計シリーズ（バージョンDX）』は「補助科目の登録」、『PCA hyper会計シリーズ』では「取引先の登録」でご利用いただけます。

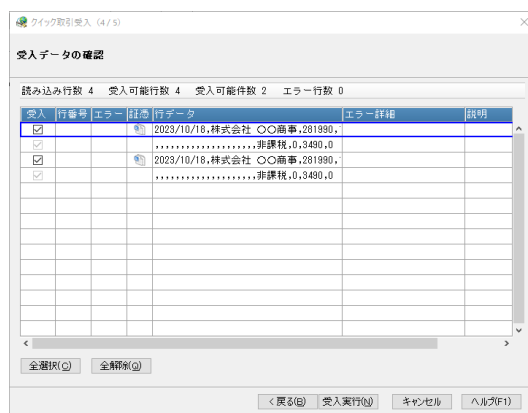
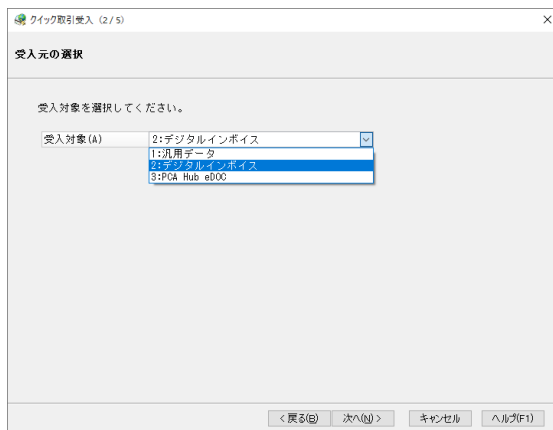
既に登録済みの事業者を対象に、適格請求書発行事業者公表サイトにアクセスして「事業者区分」「事業者登録番号」の登録内容を一括更新します。

※国税APIを利用するため、オンライン環境が必要となります。



≪「デジタルデータ処理」－「クイック処理」にデジタルインボイス対応機能を追加≫

デジタルインボイスから、クイック処理を介して仕訳伝票を作成します。デジタルインボイスを「クイック取引受入」で取引データに受け入れて、更に「クイック仕訳転送」で仕訳伝票を登録します。過去に作成したデータを選択し、最適な仕訳を予測します。



≪「デジタルデータ処理」－「デジタルインボイスの受信」処理追加≫

デジタルインボイスの受信対象取引先をソフト毎に設定し、取引データとして連携ができます。
デジタルインボイスを受信するためにはあらかじめ「ファイル」－「デジタルインボイスの利用申請」から利用申請する必要があります。

導入の流れについては「導入編」マニュアルの「予備知識」－「デジタルインボイス」をご確認ください。
※複数の『PCAソフト』をご利用の場合はいずれかの『PCAソフト』で申請をしてください。

状態	種類	証憑	証憑番号	送信元事業者番号	送信元事業者名称	請求日	請求金額	受信日時	コメント
確認済	*請求書		111	T1234567890123	削除用	20/ 8/10	1	22/ 7/22 14:47:16	
利用不可	*請求書		111	T1234567890123	変換不可	20/ 8/10	500	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		1234	T1234567890123	事業者名称	22/ 8/ 1	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
利用済	*請求書		abcd	T1234567890123	名称	22/ 8/ 4	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		1234	T1234567890123	削除用	22/ 8/10	1	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
確認済	*請求書		cdef	T1234567890123	名称	22/ 8/10	2,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		efgh	T1234567890123	名称	22/ 8/10	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		1000	T1234567890123	名称	22/ 8/10	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		1111	T1234567890123	名称	22/ 8/10	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
未確認	*請求書		11111	T1234567890123	名称	22/ 8/10	10,000	22/ 7/22 14:47:16	<input type="checkbox"/>
利用不可	*請求書		5678	T1234567890123	名称	22/ 8/ 3	10,000	22/ 7/24 14:47:16	<input type="checkbox"/>
確認済	*仕入明細書		3456	T1234567890123	1234567890123456789012345	22/ 8/ 2	10,001	22/ 7/23 14:47:16	<input type="checkbox"/>

≪「データ入力」－「振替伝票入力（コクヨ式）」等の伝票入力に税区分自動読替機能を追加≫

入力した「伝票日付」と補助科目マスター、取引先マスターに設定している「事業者区分」を参照して税区分を自動読替します。

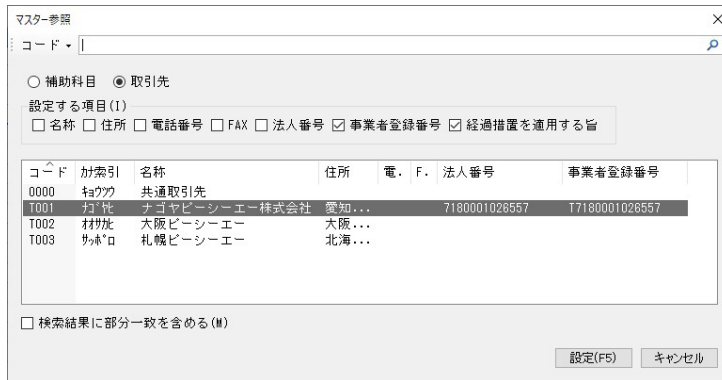
(例)

- ・事業者区分「適格」＝税区分「Q5:仕入10%」
- ・事業者区分「非適格(経過措置あり)」＝税区分「QD:仕入10%控80」
- ・事業者区分「非適格(経過措置なし)」＝税区分「Q0:仕入免税等」

借方金額	借方	摘要	貸方	勘定科目	貸方金額
110,000	541	商品仕入高	仕入10%控80	312	買掛金
8,000					対象外
				0002	松尾株式会社
	000	共通部門		000	共通部門
110,000		合計	0		110,000

≪「伝票入力」－「振替伝票入力（コクヨ式）」等のマスター参照機能に「事業者登録番号」「経過措置を適用する旨」を追加≫

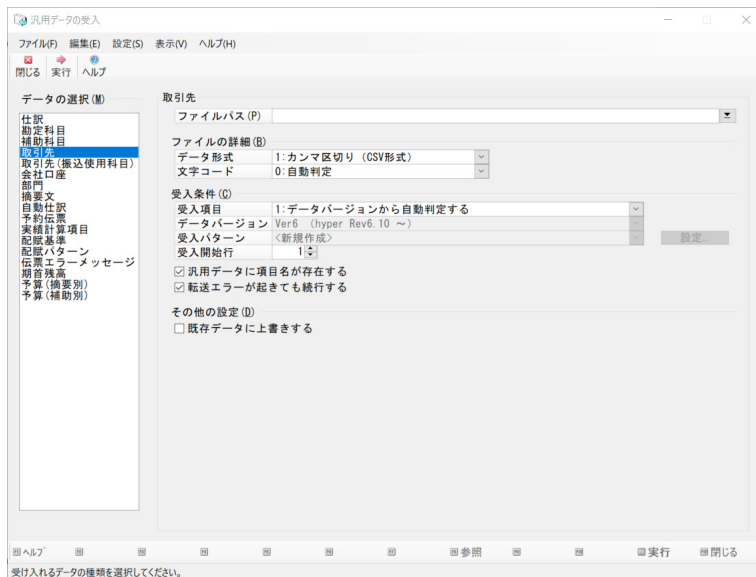
「マスター参照」機能で「事業者登録番号」「経過措置を適用する旨」を摘要文に追加できるようになりました。



≪「随時」－「汎用データの受入」に補助科目、取引先の上書受入機能を追加≫

(※) 取引先の上書受入機能は『PCA hyper会計シリーズ』でご利用いただけます。

既に登録されている補助科目、取引先の情報を汎用データの情報に上書き保存します。



PCA